

第3学年 図画工作科学習指導案

展開場所 校庭

1 題材名 校庭のすみっこ すみかに大へん身! (造形遊び)

2 題材について

本題材は、場所の特徴に着目して自らの想像を膨らめるとともに、自然の材料を生かしながらイメージを形にしていけることを楽しんだり味わったりする題材である。本学級の児童は、これまで校庭にあるお気に入りの葉を集めて絵画作品に仕上げたり、お気に入りの木を見つけてそこで遊んでみたいことを想像を膨らませてかいたりして、校庭の自然を作品づくりに生かすような活動に取り組んできた。このような活動を基に、身近な場所や、身近な自然素材のもつ特長を生かして、人工的なものでなくてもイメージを広げて見立てる遊びの楽しさを味わえるようにしたい。

学習指導要領では、第3学年及び第4学年の目標として、(1)「対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して分かるとともに、手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。」(2)「造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方などについて考え、豊かに発想や構想をしたり、身近にある作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。」(3)「進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組む、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。」また、内容(1)ア「造形遊びをする活動を通して、身近な材料や場所などを基に造形的な活動を思い付くことや、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えること。」(2)ア「造形遊びをする活動を通して、材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくること。」にあたる。本題材はこれらの目標と内容を受けて設定したものである。

本題材では、休み時間や体育の学習で使用している校庭の中の隅に目を向け、隅一つ一つの特徴を捉えて、自然材と進んで関わり合いながら造形遊びをするものである。木の根元、石垣の隙間、遊具の片隅など、普段は児童があまり気に留めないような場所が活動の舞台となる。そこで、まずはクラス全員で校庭の隅に目を向けて、それぞれの隅の特徴を観察する時間を取る。そして、児童が思いついたことを自由に話し合わせることで、楽しみながら隅を探したり、すみかについてのイメージをもたせたりしていきたい。また、自然材(枝、落ち葉、どんぐり、松ぼっくり、小石など)を積む、しばる、つるす、並べる、組み合わせるなど、今まで学習してきた色々な表現方法を試すことで、隅を自分のイメージしたすみかにつくりかえることの楽しさを味わえるようにしていきたい。さらに、同じ場所を選んだ友達と共に製作したり、近くの場所を選んだ友達と活動を見合ったりすることで、関わり合いの中からさらに活動を発展させていけるようにしていきたい。このように、一人一人が身近な場所や材料と積極的に関わりながら、それぞれの感性を解放させて活動できるようにしていきたい。

本学級の児童は、明るく素直で、製作活動を好んで行う児童が多い。しかし、つくりたいもののイメージがもてず製作を始めるまでに、時間がかかる児童が数名いる。そこで、校庭の隅のそれぞれの特徴の観察を丁寧にを行うことで、一人一人がどんなすみかにしたいかのイメージをもって製作に取り掛かれるようにしたい。そして、校庭の隅の写真を地図にまとめて教室に掲示しておくことで、イメージを膨らませやすくし、思いつくままに造形遊びを楽しませていきたい。

3 題材の目標

(1) 自然材を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、積んだり、つないだりなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくる。

【知識及び技能】

(2) 学校にある隅や自然材の形や色などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考える。

【思考力、判断力、表現力等】

(3) 進んで想像を広げて自然材を使って場所をつくりかえる活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

【学びに向かう力、人間性等】

4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○想像を広げて、学校にある隅を自然材を使ってつくりかえるときの感覚や行為を通して、形や色の組合せによる感じなどがわかっていく。 ○自然材を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してついている。	○形や色の組み合わせによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、学校にある隅や自然材の形や色などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えている。 ○形や色の組み合わせによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの製作の過程、つくったものなどの造形的なよさや面白さ、いろいろなつくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	○つくりだす喜びを味わい、進んで想像を広げて、自然材を使って場所をつくりかえる学習活動に取り組もうとしている。

5 指導と評価の計画（全5時間）

時間	ねらい・学習活動	評価の観点、評価の方法等					備考
		知 技		思		態	
		知識	技能	発想や構想	鑑賞		
1	○校庭のいろいろな隅を見て回って、それぞれの特徴を見付ける。			○ 対話 ギガタブ			隅の特長を交流しあい、「思考・判断・表現」の視点で把握する。
2	○すみかについてのイメージをイメージマップにまとめることで、想像を膨らませる。			◎ 観察 ギガタブ		↓	想像したことを言葉で表現させ、児童のイメージを把握し、指導に生かす。

3	○いろいろな表現方法を知って、すみかのイメージに合った自然材を集める。	○ 観察					「知識・技能」の視点で児童の学習状況を把握する。
4 (本時)	○場所の特長を生かし、そこに ある材料を試しながら、すみ かを工夫してつくる。		◎ 観察 作品 ギガタブ	○ 対話 作品 ギガタブ		↓	「知識・技能」に重点をおき、児童の学習状況を把握する。
5 雨天時 (本時)	○自分たちの活動を鑑賞し合 い、感じたことや見付けたこと を交流する。				◎ 観察 対話 ギガタブ	◎ 観察 対話 ギガタブ	鑑賞では、自他の作品のよさや面白さから自分の見方や感じ方を広げているかを記録に残す。「主体的に学習に取り組む態度」は、活動全体を通して把握し、最後に記録に残す。

6 材料と用具

材料	用具
自然材(枝、落ち葉、木の実など)、麻紐、ソフト接着剤、ガムテープ	はさみ、ギガタブ

7 本時の指導

(1) 本時の目標

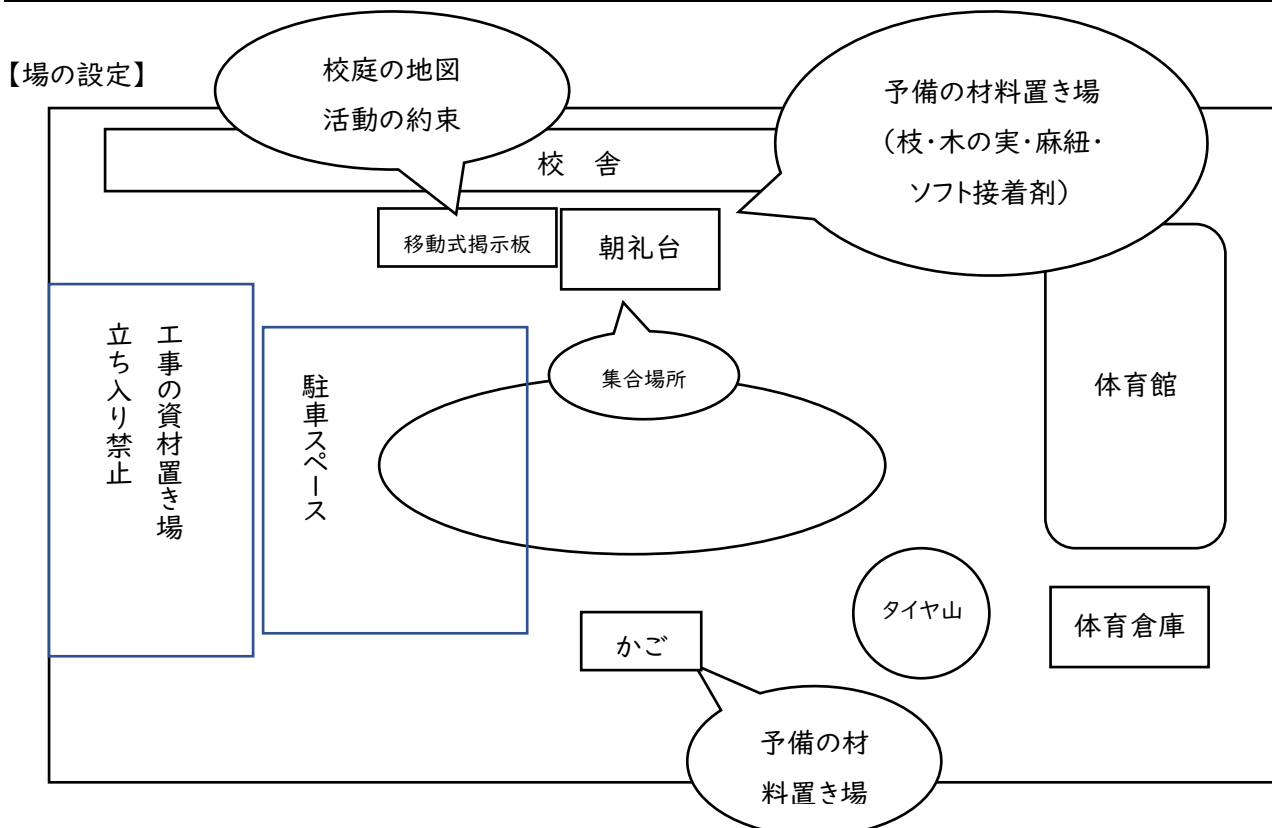
○自然材を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、積んだり、つないだりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくることができる。

(知識・技能)

(2) 展開(4/5)

学習活動と内容	教師の支援と評価(◆)	資料
1 本時のめあてをつかむ。 (活動の約束) ・地図上の範囲で活動する。 ・車に近付かない。 ・工事の場所や体育館の裏には行かない。 ・ギガタブは、探検バックに入れて丁寧に扱う。 ・鐘がなったら、写真と動画をとって集合。	○校庭の地図を貼っておくことで、活動の範囲を分かるようにする。 ○本時のめあてや時程を確認することで、見通しをもって進められるようにする。 ○安全に取り組めるようにするために、活動の約束を全体で復唱する。	・移動式掲示板 ・校庭の地図 ・はさみ ・探検バック ・材料箱 ・麻紐 ・ソフト接着剤
自然の材料を使って、すみっこをすみかに大へん身させよう。		
2 校庭の様々な場所の隅をすみかにつくりかえる。 (児童の発言例)	○全ての児童の状況を把握できるように、地図をもって見回っていく。 ○活動が発展するように、近くにいる友達同士対話をしながら進めるように伝える。	・枝 ・落ち葉 ・どんぐり ・松ぼっくり

・小石を並べたら、入り口につながる道ができたよ。  ・枝を組み合わせてテントを立てて、キャンプ場にしたよ。  ・木の実を枝に張り付けて、ランプを作ったよ。 3 朝礼台前に集合して、今日の活動を振り返る。 ・〇〇さんのすみかは、葉をたくさん重ねていて、とてもきれいだなと思いました。 ・葉をたくさん重ねたら、きれいな絨毯になりました。 ・いつも見ていた校庭のすみが自分だけのすみかになりました。	○材料の予備を用意しておくことで、材料の不足に備えるようにする。 ◆自然材を適切に扱うとともに、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。(知識・技能) ○「枝を重ねると、橋のように見えてくるね。」 「落ち葉を使っているのいいね。」などと伝えることで、迷いがみられる児童が、自信をもって取り組めるようにする。 ○評価や鑑賞に生かせるように、鐘が鳴ったらギガタブで作品の写真や動画をとっておくように伝える。 ○自然材を使って工夫していた児童を紹介し、感想を聞くことで本時のふりかえりを行う。 ○次時に作品の鑑賞を行うことを伝えることで、活動に見通しを持たせる。	・小石 ・木の実 ・ギガタブ
---	---	-------------------------------------



8 (雨天時) 本時の指導 鑑賞版

(1) 本時の目標

○形や色の組み合わせによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの製作の過程、つくったものなどの造形的なよさや面白さ、いろいろなつくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げることができる。

(思考・判断・表現)

(2) 展開 (5/5)

学習活動と内容	教師の支援と評価(◆)	資料
1 前時までの学習を振り返り、鑑賞の仕方を確認する。 かんしょうの仕方 1 友達の作品のキラキラポイントを見つけよう 2 友達に伝えよう (かならず返事) 3 カードをおくろう キラキラポイント ○どんな材料? ○どんなすみか? ○どのように変身? ○どう感じた?	○変身する前の隅の写真を見せることで、本時の活動への期待感をもたせる。 ○一人一人の作品を鑑賞しやすくするために、4人の生活班で取り組むようにする。 ○鑑賞の仕方や鑑賞の視点を示すことで、本時の活動に見通しが持てるようにする。	校庭の地図
友だちの作品のよいところや感じたことを伝え合おう		
2 生活班の友達の作品を鑑賞し、感想を伝える。 ・枝でテントができていてすごかったよ。 ・落ち葉の絨毯があって、温かそうなすみかになったね。 ・いつも見ているところが遊園地に変身したよ。 ・自分のすみかとは違って、かっこいいすみかだなと思いました。	○友達同士の関わり合いをもたせるために、感想を聞いた後は、「ありがとう」などの返事を必ず返すように促す。 ○感想がもてない児童には、鑑賞の視点に戻って考えてみるよう声を掛ける。 ○タイピングの技能に格差が生じないように、オクリンクのカードは、丸をつけるだけのものを用意する。 ◆自分や友人の活動のよさを感じ取り、気付いたことを伝え合っている。 (思考・判断・表現)	・ギガタブ (オクリンク)
3 全体で作品の鑑賞をする。 ・ブランコの隅が、家に変身するとは思いませんでした。	○全体の前で感じたことを発表した児童を称賛することで、他の児童も自信をもって発表できるようにする。 ○鑑賞の視点に戻ることで、本題材のねらいに迫る感想を促す。	・テレビ

4 題材全体の活動を振り返る。 ・自然の材料だけで、すみっこが生まれ変わっていてすごいなと思いました。 ・いつも見ている校庭の隅を、すみかに変身させることができて、楽しかったです。	○児童の感想を取り上げることで、造形遊びのよさに目を向けられるようにする。	
--	--	--

9 主な引用／参考文献等

- ・国立教育政策研究所 教育課程研究センター『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 図画工作】』（東洋館出版社）2020年6月